

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム おひさまの家

目標達成計画書

作成日: 平成 27 年 8 月 18 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	28	チームで作る介護計画とモニタリング	毎月の担当会議で、利用者の介護計画の実施状況や、目標達成状況を確認しているが、職員一人ひとりの利用者に対する介護サービス内容に個人差があり、利用者が戸惑ったりするので、職員の介護技術を均一化し、誰が介護しても利用者の喜びに繋がるように取り組んでいく。	利用者職員との付き合いが長くなればなる程、信頼関係が築かれ、愛情も深くなり、利用者が自分で出来ることにも手を出して介護し、利用者の身体機能の低下に繋がるので、自立支援と逆の方向にならないように、職員間で検証していく。	6ヶ月
2	37	災害対策	毎年2回避難訓練を実施しているが、夜間、夜勤者2名で、18人の利用者を短時間で安全な避難場所に避難誘導できる体制の確保と、避難場所での見守りが出来る地域の方や、近隣に住む職員の救援体制をマニュアル化して、いざという時に備えていく。	短時間で出来る避難訓練を、目標避難時間を設定し、タイムをクリアするまで、何回も挑戦し、目標時間を達成して、利用者全員が安全に避難できる体制を確立していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。